

令和2年5月13日（水）

6年生のみなさん、こんにちは。

学校が休みの日々が続き、メリハリのある生活が難しくなっている人もいるかもしれませんね。学校があれば、決まった時間に起きて登校し、決まった時間に学習する。今は自分の力でコントロールするしかありません。学校が再開する日に向けて、今一度、生活のリズムを整えて、メリハリをつけて生活し、今できる学習に取り組んでほしいと思います。自分の生活や気持ちをコントロールする力は、大人になってもとっても役に立つ力です。この機会に、ぜひその力を鍛えてほしいと思います。



さて、国語のプリントが3枚、宿題になっています。どれも答えがついていないワークシートでなかなか難しいかもしれませんので、少しだけアドバイスしますね。

<国プ①>朗読で表現しよう「生きる」

詩「生きる」は第5連（5つのまとまり）でできています。それぞれの連に「生きる」ということはどんなことなのかが書かれていますので、作者の谷川俊太郎さんが伝えたいことは何か考えながら読んでみましょう。



そして、繰り返し声に出して詩を読んでみましょう。自分が思ったことや考えたことが聞き手に伝わるように工夫を考えてみましょう。ワークシートに載せた記号やメモ等を教科書に書き込みながら取り組むとよいですよ。

学校が再開したら、みんながどのような工夫を考えて朗読したのか、聞かせてもらおうと思っています。どのような朗読になるか楽しみです。

<国プ②、③>筆者の論の進め方を確かめよう「イースター島にはなぜ森林がないのか」

6年生になって、1つめの説明文です。以下の流れで、読み進めてくださいね。

- (1) 34ページを読んで、この話を通して学ぶことを確認する。
- (2) 35ページを見て、どのような話が書かれているのか想像してみる。
* 題名、写真、一文に注目する。

⇒ワークシートに記入（国プ②）

- (3) 36ページから42ページまでの本文を読み進める。
* 段落番号を書き込む。
* 分かったことや気づいたこと、疑問やもっと知りたいと思ったことに線を引ながら読む。

⇒ワークシートに記入（国プ②）

- (4) さらに詳しく読む。特に本論の部分は詳しく読み取る。

⇒ワークシートに記入（国プ③）



★ **がんばって学習を進めてくださいね** ★